

Economy & Ecology
エコノミー & エコロジー

SCREEN

Truepress Jet520

フルカラーバリアブル
インクジェットプリンティングシステム

New
エントリーモデル

導入コストを抑えた待望の
シリーズ機登場！！

<特長>

- ◆ Truepress Jet520の品質機能を継承
- ◆ 高付加価値創出
- ◆ Eco設計による環境対応
- ◆ 業務内容に応じた前後処理装置の選択(OP)
- ◆ 全数・全面ビットマップ検査による品質保証(OP)
- ◆ 業務量に応じてバージョンアップ(OP)



●ダイレクトメール
圧着はがき(先糊、後ニス対応) etc...



●帳票関係
OCRドロップアウトカラー
薄紙・ノンカーボン用紙
保険証券・約款 etc...

●パーソナル出版・小ロット印刷
パーソナルカタログ・自費出版
新聞・フリーペーパー etc...



株式会社 メディアテクノロジー ジャパン

〒102-0074 東京都千代田区九段南2-3-14 靖国九段南ビル
VP営業統轄部 VP営業部
TEL03(3237)3116 FAX03(3237)3203
ホームページ <http://www.mtjn.co.jp/>

大日本スクリーン製造株式会社

メディア&プレジジョンテクノロジーカンパニー
〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上る4丁目
ホームページ <http://www.screen.co.jp/>



フォーム印刷

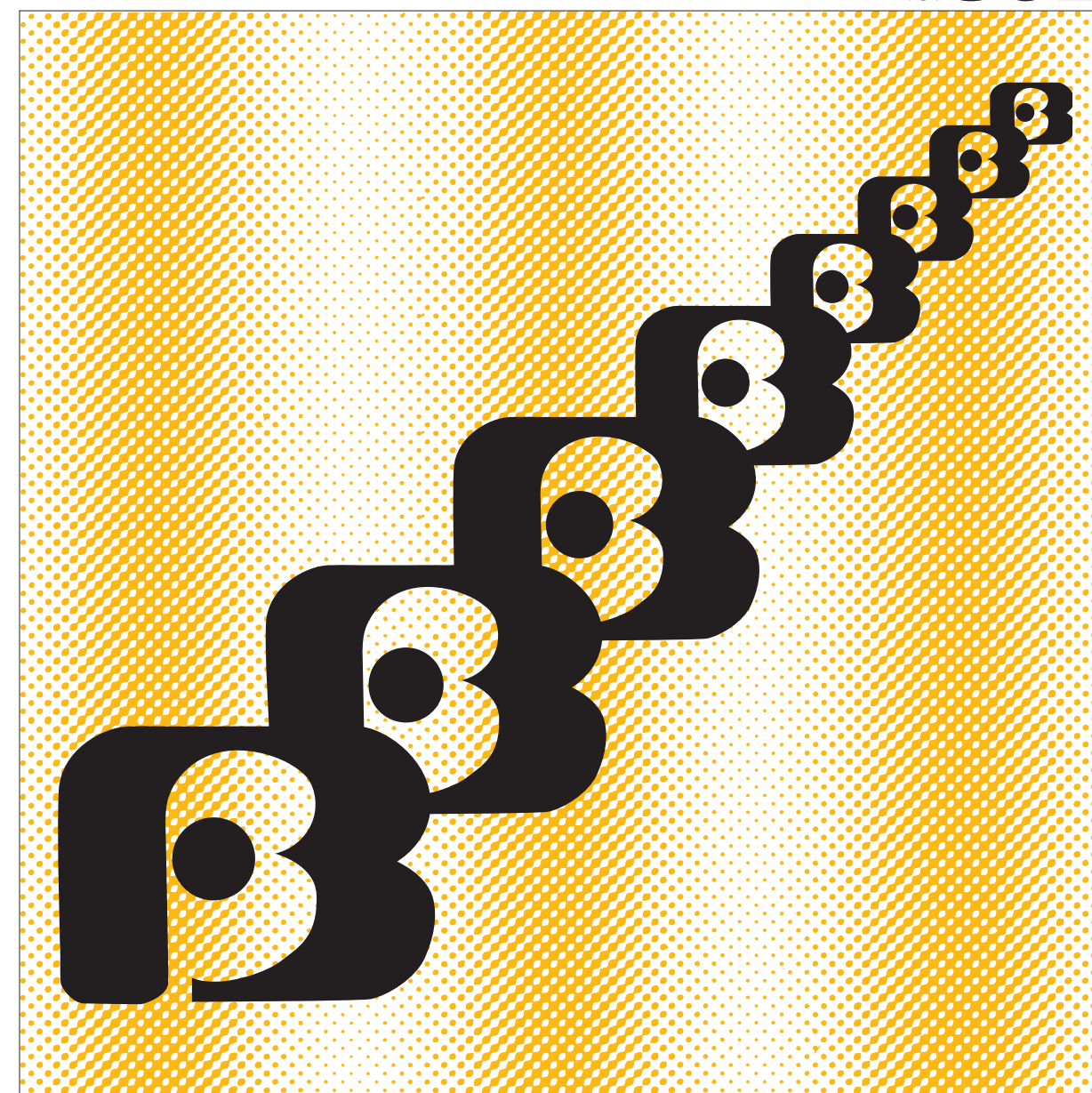


JAPAN BUSINESS FORMS ASSOCIATION

日本フォーム印刷工業連合会会報

発行 日本フォーム印刷工業連合会 〒104-0041 東京都中央区新富 1-16-8 日本印刷会館
TEL 03(3551)8615 FAX 03(3555)8466 ホームページ <http://www.jbfa.jp>

NO. **361**



2009.10

RFID Label Making Machine

RFIDタグラベル製造加工機

TIC-R型RFIDインレット貼付け機

ユビキダス時代の到来により、あらゆる業種で導入され始めたRFIDタグラベルの製造が可能。プレ印刷されたタック用紙にRFIDインレットロール（RFIDアンテナロール）をカットしながら挿入していきます。オートカットオフコントローラー（自動見当維持装置）によりロータリーダイカット抜き及びシートカット加工を安定して行うことができます。



物流の新時代を担う
RFIDタグラベル

※写真は輪転機タイプですが、間欠タイプも可能です。

標準仕様 ●最大紙巾／250mm ●最大ロール径／φ500mm ●最大加工速度／50m毎分（条件に抛ります） ●ロータリーダイカットサイズ／193.375mm～457.2mm（7-5/8吋～18吋） ●シートカットサイズ／171.45mm～412.75mm（6-3/4吋～16-1/4吋） ●オプション／検査装置、不良品リジェクター

TAIYO 株式会社太陽機械製作所

■本社 〒143-0015 東京都大田区大森西1-17-22 TEL. (03) 3764-6127 FAX. (03) 3766-5036
■大阪営業所 〒532-0012 大阪市淀川区木川東3-4-11 第一丸善ビル TEL. (06) 6390-5612 FAX. (06) 6303-3909
■山形工場 〒991-0061 山形県寒河江市中央工業団地12番地 TEL. (0237) 86-0223 FAX. (0237) 86-0179
<http://www.taiyo-kikai.co.jp> E-mailでのお問合せは taiyo@taiyo-kikai.co.jpまで



日本フォーム工連 平成21年度第4回理事会議事要録	2
日本フォーム工連 平成21年度第5回理事会議事要録	4
トピックス	6

日産連「2009年印刷の月」記念式典

印刷功労賞に小谷正嘉氏、印刷振興賞に中川博志氏、福武正廣氏が受賞

特別企画セミナー「印刷市場を広げるプロモーション・マーケティング」を開催

業務委員会主催第3回講演会を開催

日本フォーム工連 欧州海外視察（Label expo2009・企業視察）を実施

工業会だより	10
関東フォーム印刷工業会 夏季懇親会を開催	
北海道フォーム印刷工業会 研修会を開催	

INFORMATION	11
-------------	----

国際委員会 北米印刷事情レポート（2009年7月～9月）

中部フォーム印刷工業会「ビジネスチャンスはどう見つけるか」セミナーご案内

2009年度版「コンピュータ・サプライ市場の展望と戦略」を発刊

ビジネスフォーム印刷専用エッチ液

FCリスコート H-17 BFシリーズ

特徴 ☆UV・油性減感インキに適切な乳化特性を付与し、インキの過乳化を制御
☆種々の材料をコーティングしたインクジェット用紙並びに感圧接着紙の使用時にも汚れにくい
☆耐水性の低い染料系インキ・減感インキご使用時でも水元ローラー絡みを極力抑制



富士薬品工業株式会社
FUJI CHEMICALS INDUSTRIAL CO.,LTD
HP URL <http://www.fcfuji.co.jp>

本社 〒176-0012 東京都練馬区豊玉北3-14-10
TEL 03-3557-6201 FAX 03-3557-6205
大阪営業所 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町22-1
TEL 06-6384-1351 FAX 06-6389-3221

フォーム印刷用インキのトップシェア

FDフォームTF NC

圧倒的な生産性を実現!!

安定した印刷品質 抜群の硬化スピード

高い乳化安定性とワイドな水幅

優れたUV硬化性

※話題の大豆油インキフォームFD TF SOY NCもご用意しました。

製品の詳しい情報はwww.toyoink.co.jp/
「製品・サービス」コーナーをご覧ください。

i&i イメージ&インターフェース
東洋インキ

本社／東京都中央区京橋二丁目3-13 TEL 03 (3272) 5731
RC事業部／TEL 03 (3272) 8473

日本フォーム印刷工業連合会 平成21年度 第4回理事会議事要録

■平成21年7月9日(木)午後1時30分～3時00分 日本印刷会館 2階201会議室

■出席者(20名)

秋山会長、小林副会長、小谷副会長、瀬戸副会長、小谷(正)常任理事、瀬戸(政)常任理事、中村常任理事、福田常任理事、丹羽常任理事、玉田常任理事、笹氣常任理事、松尾常任理事、中川常任理事、佐々木常任理事、石坂理事、坊野理事、西川監事、吉澤監事、丸田様(福武理事代理)、山口(専務理事事務局)

議 題 (1)「企業経営を助ける知的財産への取組み」について((株)AMG大久保社長)

(2)委員会報告

(3)日本印刷産業連合会等関連報告

(4)各フォーム印刷工業会からの報告

議 事 冒頭、秋山会長の開会挨拶があり議事に入った。

「秋山会長挨拶骨子」

日本経済も、日銀の景気判断では上向きに修正したもの行く先の不透明感は拭えないようで、最悪期は脱したもの、視界は開けていない。

一方政局の方も不透明感がただよっており、株価の重石になっているとも言われており、われわれを取り巻く環境は相変わらず厳しい状況ですが、お互いの情報交換を通して、少しでも明るさを見出せる努力をしてゆきたいと思う。

先週は関西工業会主催の技術セミナーを開催しましたが、多くの会員の方々が参加され盛況だったと聞いておりますが、今日は情報共有の一環として「知的財産権」に関する取組みについて講演頂きます。

「企業経営を助ける知的財産への取組み」について

(株)AMG代表取締役の大久保嘉英氏から企業が取組むべき知的財産権について講演を行なった。講師の大久保氏は、技術を持っていないメーカー、イノベーションを心がけていない企業は発展もしないし淘汰されてしまう。そして、技術を持つ企業は知的財産戦略を持つことが発展の鍵であり大切だと話す。



しかし、知的財産戦略についてやり方を知らない企業は最悪で、1件の出願で特許事務所に100万円前後の大金が掛かる。

そこで 特許庁の無料データベースや、外部の専門家を利用して、特許出願は自社で行なう体制作りをすべきと話す。このことによって、社内で特許明細書が書ける体質が生まれ、特許出願に関する金額の削減以上に、社内でのアイデア発掘などにより、新しい特許もどんどん獲得できるようになり、企業の活性化のためにも「知的財産への取組み」が大きく寄与する。

委員会報告

●資材委員会

7月度用紙事情説明メモについての報告があった。

●国際委員会

・PSDAレポート5月号の概要報告があった。

・LABEL EXPO2009視察ツアーの募集説明

期 間 9月20日～27日(8日間)

費 用 590,000円 募集人員15名

募集締切 7月31日(金)

訪 問 先 オランダ(アムステルダム・ハーグ他)、ベルギー(アントワープ・ブリュッセル他)

●業務委員会

・6月度月次計算についての報告と、6月25日に開催した第2回講演会「どうしたら良い会社になるか!」の講演概要と、講師の古田土会計事務所紹介のDVD紹介を行った。

・8月27日椿山荘で開催の第3回講演会「リッツ・カールトンから学んだ仕事でいちばん大事なこと」の案内と募集開始を報告。

●市場調査委員会

現在7月末日の締切り予定で進めているアンケート調査の回答状況を報告。

更に、回答の促進を図るために、7月15日に特別企画セミナーを開催し、日本プロモーションマーケティング協会の坂井田専務理事のご講演に併せて、岡田市場調査委員長から昨年度(平成20年)の市場調査報告書内容について報告する。

●技術委員会

・6月19日開催した合同セミナーで実施したアンケートについて報告があった。

今回は国際委員会からChina Print 2009の視察報告と、欧米に於けるデジタルプリント事情をサカタインクス(株)とインフォプリント・ソリューションズ・ジャパン(株)からの講演であったが、アンケートでは標記の3項目に関心を持たれている参加者が丁度3分割されていた。

・初めての企画として関西工業会の主催による技術セミナーを、大阪堂島ホテルで7月3日に開催することを報告。

●環境委員会

環境施策を推進するためにアンケート調査を実施し、この結果を基に環境委員会として会員各社がGP工場認定取得に対してサポートする取組みを行なう。

各工業会での環境への取組みを支援するために、各工業会での環境セミナーを開催する。(関

西工業会では秋に実施予定)

日本印刷産業連合会等関連報告

事務局山口より、資料に基づき以下の報告があった。

(1)グリーンプリンティング定期申請説明会開催案内

各工業会報告

関東印刷工業会：南支部を中心とした支部懇親会が行なわれている。8月27日には関東工業会主催の懇親会を目白椿山荘で開催する。また本日関東工業会の前会長的那須様の偲ぶ会を東京會館で開催する。

中部印刷工業会：名古屋の歓楽街も少し人が増えているとの情報もあるが、トヨタの状況は例年の約6割の生産高であり、7割になるのは秋以降と聞いている。

関西印刷工業会：関西地区の上質紙の出荷量は5月の状況より少し回復して前年同月比85%の状況です。7月3日(木)関西印刷工業会では初めての企画として大阪堂島ホテルで技術セミナーを盛況に開催した。また翌日は10組の参加を頂いてゴルフ親睦会も開催された。

最後に瀬戸副会長より閉会挨拶があった。

「瀬戸副会長挨拶骨子」

本日も様々な方面からの情報提供があったので活用して頂きたい。製品価格については微妙な問題ではあるが、皆さん方のご意見を伺っていきたいと思っている。

今日の理事会はこれで終了致しますが、夕刻4時からの那須前会長の偲ぶ会にお集まり下さい。次回開催日

平成21年度第5回理事会

(日印産連9月印刷の月式典前に開催)

平成21年9月16日(水)午後1時30分より

於 ホテルニューオータニ(椿の間)

を確認して閉会となった。

日本フォーム印刷工業連合会 平成21年度 第5回理事会議事要録

■平成21年9月16日(水) 午後1時30分～2時30分 ホテルニューオータニ(椿の間)

■出席者 (22名)

秋山会長、小林副会長、小谷副会長、瀬戸副会長、小谷(正)常任理事、瀬戸(政)常任理事、福田常任理事、丹羽常任理事、玉田常任理事、岡田常任理事、川口常任理事、笹氣常任理事、松尾常任理事、中川常任理事、佐々木常任理事、福武理事、石坂理事、水谷理事、吉澤監事、水谷様(中村常任理事代理)、谷島様(西川監事代理)、山口(専務理事事務局)

議 題 (1) 委員会報告

(2) 日本印刷産業連合会等関連報告

(3) 各フォーム印刷工業会からの報告

議 事 冒頭、秋山会長の開会挨拶があり議事に入った。

「秋山会長挨拶骨子」

ご存知のように閣僚の人事が発表になりました。

我が国の冷戦後の20年が「失われた時代」から抜け出せなかったのは、官僚主導政治の行き詰まりに尽きると言われています。これからは政治主導政治が期待されていますが、官僚の発想を超えた国家戦略が打ち出せるかどうかにかかっていると思います。

どちらにしても我々としては、政局や社会情勢に振り回されることなく、業界発展のために尽力を尽くしてゆきたい。

委員会報告

●資材委員会

9月度用紙及びインキ事情説明メモについての報告があった。

●国際委員会

- ・PSDAレポート9月号の概要報告があった。
- ・欧州・ラベルエキスポ視察ツアーについて、出発日9月20日(日)、参加者7名(参加企業4社)、欧州訪問企業4社、ラベルエキスポ視察(2日間)、印刷博物館(アントワープ)を含めた現地視察日程について説明がなされた。



●業務委員会

- ・8月度月次計算についての報告と、8月27日椿山荘で開催の第3回講演会「感動を呼ぶサービスの真髄」(林田正光氏講演)についての報告があった。

参加者は他団体の方々も含めて約160名が聴講され、多くの方々から感激のアンケートを頂いた。

●技術委員会

- ・7月3日に大阪堂島ホテルで初めて実施した関西工業会の主催による技術セミナーについて報告。今後、各工業会と共同して様々な企画をしていく。
- ・欧州・ラベルエキスポ視察、米国で開催された“Print 2009”、10月開催の“JGAS 2009”等の情報を含めた国際委員会との共同セミナーを企画することを報告。

●環境委員会

- ・会員各社へグリーンプリンティング工場認定申請に向けての支援方法について検討。
- ・関西工業会で10月29日(木)に計画している「環境セミナー」の内容を吟味し、環境委員会と共同で実施に向けて協議を行なう。

日本印刷産業連合会等関連報告

事務局山口より、資料に基づき以下の報告があった。

- (1) 厚生労働省「仕事と生活の調和推進プラン事業」について
- (2) G Pマークの変更について
- (3) 経済産業省商務情報政策局人事異動について
- (4) 「循環型社会形成の自主行動計画」
- (5) 日本印刷産業連合会職務分担表
- (6) 第51回全国カタログ・ポスター展
- (7) 「F A G A Tセミナー」ご案内
- (8) 「全印工連フォーラム2009」ご案内
- (9) フォーム工連活動新聞記事

各工業会報告

関東印刷工業会：8月27日に目白椿山荘で開催した夏季懇親会には、多くの会員の方々にご参加頂き感謝している。価格の事については憂慮する事態にもなっているが、公正取引推進委員会とも協議して、法令遵守をしながら何が出来るか検討して行きたい。

北海道印刷工業会：北海道庁は最低制限価格を60%から70%まで引き上げた。しかし、札幌市役所については最低制限価格の設定は出来ないと回答している。ロール原紙の出荷状況は200トン(前年同月比111.7%)であるが、昨年8月の落込みが大きかったので比率が上っている。ノーカーボン紙は224トン(94.5%)用紙全体では11,543トン(85.6%)であり、先の見えない状況にある。

東北印刷工業会：秋田印刷製本様が本社移転を

する。また、江馬印刷様が社名を10月からビー・プロに社名変更する。

日銀の仙台支店長の短観では経済状態は底を打ったと語っているが、東北の印刷業界を見ている範囲では底を打ったとはあまり感じられない。

中部印刷工業会：9月9日に理事会を開催。自動車産業は減税の関係で来年の3月までは持ち直しが予測され、9月には昨年の80%まで回復するとしている。しかし、印刷業界の現状を見ると、まだまだ回復していると感じられない。

関西印刷工業会：7月度の関西地区でのフォーム用紙の払出しは、前年同月比94.8%、ノーカーボン紙80.4%と、仕事の関係でフォーム用紙は比較的良かったものの、低調な状況に変わりはない。

関西工業会では、10月29日に「BF業界が直面する待ったなしの環境」と題して環境セミナーを実施する。

最後に小林副会長より閉会挨拶があった。

「小林副会長挨拶骨子」

これから開催される「9月印刷の月」の式典の中で表彰されます、小谷様、中川様、福武様、本当におめでとうございます。理事会にお集まりの皆様ともに、お祝い致したいと思います。

今日の理事会でも大変有意義な講演会や、セミナーについての報告がありましたが、各地方の工業会においても、このような機会を沢山増やして頂いて、会員同士のコミュニケーションを深めて下さい。

次回開催日

平成21年度第6回理事会(持ち回り理事会)
平成21年10月8日(木) 午後3時より
於 岐阜グランドホテル2階 鳳凰の間
を確認して閉会となった。

日本印刷産業連合会 2009年「9月印刷の月」記念行事開催

印刷功労賞に小谷正嘉氏、印刷振興賞に中川博志氏、福武正廣氏が受賞

(社)日本印刷産業連合会(山口政廣会長)主催の「9月印刷の月」記念式典が9月16日、東京・千代田区のホテルニューオータニ「鶴の間」で開催され、日印産連10団体の会員、来賓、関係者など約730人が出席した。

記念式典は午後4時30分から開催され、主催者を代表して挨拶された山口会長は「印刷産業も、企業の広告宣伝費削減や個人消費の低迷による需要の減少、諸資材価格の高止まりによる負担増、規制が高まる環境への対応など、大変厳しい経営環境が続いている。そのため、今後の需要マーケットや技術革新の動向などを的確に見定め、事業領域の拡大を図り、業界基盤の強化に努めることが重要と考えている」と、これからの印刷産業界が取り組むべき方向性を述べるとともに、さらなる発展に向けて10団体のより強固な団結を呼びかけた。

来賓を代表して、経済産業省商務情報政策局文化

情報関連産業課の信谷和重課長は「印刷産業は、わが国の経済にとって重要な産業として考えている。7兆円という出荷額をもつ産業規模、生活の隅々まで支えている印刷技術、そして世界に誇れる印刷品質」と印刷産業の功績を評価したうえで、経済産業省として厳しい経済環境に置かれている印刷産業への支援を約束した。

日印産連の小林博美副会長による「2009年9月印刷の月アピール」の後、各種表彰に移った。

日印産連表彰では印刷功労賞12名、印刷振興賞19名が受賞を受け、日本フォーム工連からは印刷功労賞に小谷正嘉氏、印刷振興賞に中川博志氏、福武正廣氏の3氏が表彰された。

第8回環境優良工場表彰では、経済産業大臣賞を含めて15社が受賞され、日印産連秋山正法副会長の閉会の辞で記念式典を閉幕した。

印刷功労賞



小谷 正嘉

日本フォーム印刷工業連合会
常任理事 業務委員長
株式会社イセトー 相談役

(推薦理由)

平成14年より日本フォーム印刷工業連合会常任理事及び業務委員長に就任し、関東フォーム印刷工業会副会長を務め、業界のこれからの在り方や、企業の社会的責任を踏まえた業界体質の改善に努める等、業界再生の活躍に貢献して大きな成果を上げた。また、日本印刷産業連合会経営労働委員会委員にも就任し、個人情報保護に関する手引書の発行に関わるなど、印刷産業の発展に大きな功績を残した。

印刷振興賞



中川 博志

日本フォーム印刷工業連合会
常任理事
関西フォーム印刷工業会会長
水三島紙工株式会社
代表取締役社長

(推薦理由)

平成16年より日本フォーム印刷工業連合会常任理事に就任し、関西フォーム印刷工業会会長を歴任され、低迷する地方経済圏にあって活性化と地位向上に尽力された功績は多大である。



福武 正廣

日本フォーム印刷工業連合会
理事
太平洋印刷株式会社
代表取締役社長

(推薦理由)

平成12年より事業の傍ら通算9年間に亘り日本フォーム印刷工業連合会理事を歴任し、団体の運営を積極的に支え、フォーム印刷産業の振興発展に寄与された。

日本フォーム工連 特別セミナー「印刷市場を広げるプロモーション・マーケティング」を開催

日本フォーム工連(秋山正法会長)は7月15日、日本印刷会館で日本プロモーション・マーケティング協会専務理事の坂井田稲之氏による特別セミナー「印刷市場を広げるプロモーション・マーケティング」を開催。

講師の坂井田氏は、消費者の85%が来店時にどの製品を購入するか決まっておらず、製品の認知度を高める広告のほかに、認知度を購買につなげるプロモーションが必要と指摘。

販売促進(sales promotion)印刷物市場は巨大で、この市場を獲得するため、見よう見まねの我流の企画力ではなく、この部門の対応力をつけるために業界基準に基づくプロの企画技法を習得して欲しい。

戦略目標に基づき、①グラフィック系SP印刷物、②編集系SP印刷物、③POPツール、④SP媒体、⑤プロモーション・イベント、⑥映像系ツール、⑦ネット系ツール、を効果的に使い分ける必要がある。

広告会社と印刷会社の販売促進部門の対応力は、あまり変わらないように思う。しかし「顧客企業が本当にモノが売れなくて困っている今の時代、お客さまと一緒に取組んで、一緒に悩みますよ」という姿勢が印刷会社には足りないのではと指摘している。

なお第2部では日本フォーム印刷工業連合会の市場調査委員長の岡田正明氏から、昨年発行した「フォーム印刷業界の現状と課題に関する調査報告書」について解説。DPSの売り上げが伸長しているアンケート結果を報告し、厳しい市場調査環境の変化を測定するために、本年度も「フォーム印刷業界の現状と課題に関する調査報告書」の発刊に向けて、調査を行なうことを発表しアンケートへの協力を求めた。



講師 坂井田稲之氏

岡田正明
市場調査委員長

セミナー会場風景

業務委員会主催 第3回講演会を開催

日本フォーム工連業務委員会(小谷正嘉委員長)は8月27日、目白の椿山荘においてベストセラー「リッツ・カールトンで学んだ仕事でいちばん大事なこと」の著者で、CS.ホスピタリティプロデューサーの林田正光氏を講師に迎えて、「異業種から学ぶ『感動を呼ぶサービスの真髄』顧客の心を掴むサービスの本質とは」をテーマに講演を行なった。

林田氏は元リッツ・カールトン大阪の営業統括支配人(現・(株)HAYASHIDA-CS総研代表取締役、タラサ志摩ホテル&リゾート総支配人)。「ホテルのもてなしとは、料理や施設のことではない。サービスこそがもてなしの本質で、ホテルが提供するものだ。そのサービスは、感動を与えるものでなくてはならない。リッツ・カールトンでは『できません』と言わないサービスを行なっている。急な予約を頂いて満室であった場合にも、隣接のホテルの予約状況を調べてお知らせする。深夜閉店時間にラウンジを訪れたお客さまにも、出来る限りのサービスを行なっている」。心からの接客と営業が大事で継続すれば自分のファンができ、それが自分、自社ブランドになる。一流ホテルの顧客の心をいかに掴むか、ホスピタリティ「心に響くおもてなし」の原点について、自身が自ら経験し体験した「クレド」経営を熱く語った。



講師 林田正光氏

ホテルにとってサービスがいかに大切か、顧客満足度(CS)を高めるために、従業員満足度(ES)がいかに重要かを感動の事例をもって話された。

聴講された会員からは「今まで(人生)の中でいちばん面白く、素晴らしい講演会でした。会社でもオリジナルのクレドを皆と話し合って作りたいと思います。今後の生き方に影響を与えてくれた楽しい時間でした」(30代の男性)とのアンケートが届いた。

当日、講師林田氏の著書「リッツ・カールトンで学んだ仕事でいちばん大事なこと」と「セレクトモアつくばの心・究極のサービス」を販売させて頂きましたが、林田氏自らが購入された一人一人にサインをして頂くなど、最後まで「心に響くおもてなし」の講演会になりました。

ご講演内容については「日本フォーム印刷工業連合会ホームページ」に掲載されております。



講演会会場風景

国際委員会 2009年度欧州海外視察(Label expo 2009・企業視察)を実施

日本フォーム印刷工業連合会「国際委員会」(委員長 玉田健治)では9月20日～27日に、ベルギー・ブリュッセルで開催されます「LABEL EXPO 2009」と、欧州の関連印刷企業を訪問する視察ツアーを実施し、貴重な情報を入手して帰国致しました。

企業訪問ではプリンターメーカーのPunch Graphix International社、デジタルプリントのビジネス展開をしているEclipse International社、Flemish Community社、ビジネスフォーム印刷からデジタルプリントまで行なっているEformaメンバーであるGroup Joos社の4社を訪問するとともに、ラベル産業界で最大の展示会である“LABEL EXPO 2009”を視察した。

“LABEL EXPO 2009”では約500社のラベル印刷関連企業から出展があり、デジタル印刷の実用化に向けて、デジタル印刷の前後加工装置やソフトウェアの展示もあり、より具体的提案がなされことが注目される。

また、アントワープでは16世紀創業当時の印刷所跡、印刷者邸宅を生かした世界有数の印刷出版系博物館の「プランタン = モレトゥス博物館」を訪れ、ヨーロッパ近代印刷産業の成立ちにも触れることができた。

今回の視察ツアーには、団長・入野 康(小林クリエイイト(株))、副団長・藤岡琢哉((株)イセトー)、園田浩司(トッパン・フォームズ(株))、斉藤信行(トッパン・フォームズ東海(株))、佐伯邦久、五十嵐正人((株)ビーエフ)、竹本好孝(サカタインクス(株))の7名の各氏が参加された。

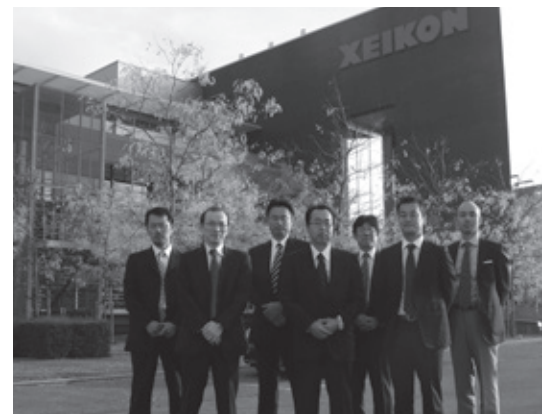
成田空港での出発前の結団式では「今回は米国と異なり、市場規模が近い欧州を視察することで、日本との違いを体験して来て欲しい。元気で楽しい有意義な視察になることを期待している」と玉田委員長が挨拶された。

また、今回のツアーはラベル新聞社のご協力を頂いており、期間中に同社企画のツアー参加者との交流の場も持たれ、実り多い視察になった。

12月1日(火)午後2時から技術委員会との合同で開催するセミナーでは、当視察報告の他、米国で開催された“PRINT 2009”、日本で開催した“JGAS 2009”についても、ビジネスフォーム業界の視点からの報告が行なわれる。



プランタン = モレトゥス博物館



ラベルエキスポ会場



ツアー参加者

関東フォーム印刷工業会 平成21年度夏季懇親会を開催

関東フォーム印刷工業会(瀬戸良教会長)は8月27日、目白の椿山荘において夏季懇親会を開催した。

冒頭あいさつに立った瀬戸会長は、前段に行なわれた業務委員会主催の第3回講演会の内容にも触れて、「林田先生の素晴らしい講演を聞き、あらためてお客さまや、社員のためという心がけが大切と思う」と述べ、サービスの重要性を会員に呼びかけた。

続いて、日本フォーム印刷工業連合会の秋山正法会長、経済産業省商務情報政策局課長補佐の出沼輝男氏が来賓挨拶をされ、福田学副会長の乾杯で開宴され、参加された約180名の会員の方々と懇親を深めた。

また 新しく会員として入会された、NTTコムウェア・ビリングソリューション(株)、江馬印刷(株)東京支店(以上正会員)、(株)ビー・ピー・エス、グローリー(株)、キャノンマーケティングジャパン(株)(以上特別会員)の5社が壇上で挨拶をされた。



北海道フォーム印刷工業会 研修会を開催

北海道フォーム印刷工業会(川口亨会長)では10月16日～17日、紅葉の美しい定山溪グランドホテルに於いて「フォーム業界の生き残り策として」をテーマに研修会を開催。20社の会員企業から31名が参加された。

セミナー開催にあたり川口会長より「印刷業界及び印刷媒体の著しい様変わりを直視し、業界変革を進めなければならないフォーム業界において、オンデマンドプリントを中心に、J G A Sで紹介された新技術を各社から札幌で聞けることは非常に意義のあること」と挨拶された。リコー北海道(株)、コニカミノルタビジネステク



挨拶する川口亨会長

ノロジーズ(株)、(株)ミヤコシの各社から技術動向とビジネスソリューションについて、また、新生紙パルプ商事(株)、国際紙パルプ商事(株)から用紙動向について講演された。限られた時間であったが、各社での「営業戦略、設備計画、媒体開発」の参考になる有意義なセミナーとなった。

引き続き開催した懇親会では、会員の良い意見交換の場にもなり懇親を深めた。



国際委員会 ■北米印刷事情レポート

郵便物が出す二酸化炭素排出量に関する調査結果
PSDA発行の業界専門誌「Print Solutions誌」7月号に、「郵便物を比較測定する」と題して、環境破壊が問題視されているダイレクトメール(DM)の環境負荷を分析した特集が組まれ、2009年ナショナル・ポスタル・フォーラムで発表された、郵便物関連の最新統計を基にした分析記事が掲載された。

米国郵政の郵便物緑化特別委員会(USPS Greening the Mail Task Force)の算出した数値によりますと、全米の郵便物が排出する温室効果ガスは、全排出量の0.6パーセントにすぎず、広告郵便物は、自治体が処理する固形排出物の2.4%以下であるとの統計を紹介しています。業界にとって注目すべき点として、家庭に配られる広告郵便物の40%近くがリサイクルされており、技術的にはこの数値をさらに向上することが可能なことをあげています。これからのトレンドとして、リサイクル対応型印刷物の需要がより一層高まることが指摘されています。

米国の医療業界の印刷事情

米国は、オバマ政権の取組みにも見られるように、医療関係のシステム改善が大きな課題の一つとなっている。業界専門誌「PRINT Professional」8月号に、医療業界に於ける印刷物需要特集が掲載された。

米国の医療業界は、他の業界と比較してインフォメーション・テクノロジーに遅れが目立っている。1996年から多額の費用を掛けて病院及びクリニックの電子ファイリング化を推進してきたが、小規模個人経営の病院の約91%は依然紙ベースの処理に依存している。

この主な要因は電子ファイリング化に伴う25,000～40,000ドルと推定される導入費用と、電子化の移行に要する期間が約6か月近くを要

することにあります。

医療業界は印刷産業にとって経済不況の最中にあっても比較的影響を受けずにおりますが、電子化に伴って各種印刷物が全て電子化する事を懸念する声も上がっております。しかし、既に電子ファイリング化をした病院の実情を調べると、急激に減少するのではなく必要な紙媒体の形態や、種類が変わっているだけであるという事が分かります。

様々な情報を精査し、電子化を積極的に促進する為の方法に精通することで、ソフト・ハードメーカー、及び発注担当者に頼りにされることが、ビジネスを継続・拡大する鍵になるようです。

米国の小切手事情

National Check Fraud Center(米国小切手不正取締センター)によると、米国内での不正小切手の被害総額は、年間で10 billionドル(日本円1兆円弱)を超えています。不況の影響で小切手詐欺が増加し、その対応が今まで以上に必要とされている。支払方法の電子化が進み、多くの企業が電子化をする一方、まだ紙ベースの小切手消費量も増加傾向が続いている。1973年には小切手が不要になるとの予測が出されましたが、それから35年以上経っても高い比率で小切手が使われ続けている。しかし 個人使用の小切手は減少を続けており、特に若い世代に於いてはそれが顕著です。

そこで、予防策として、小切手のセキュリティ機能の見直し、セキュリティ・小切手発行ソフトウェアの採用、発行フローの見直し等が行われています。

HPとデジタル印刷機の共同開発に関する技術提携にRR Donnelley社が合意

業界誌「What They Think?」の9月11日付け記事で、下記の情報が紹介されました。

RR Donnelley社は、HPとインクジェット・ベースのデジタル印刷機開発における技術提携に合意した、との発表をした。製品はHPブランドでの販売を予定。RR Donnelley社のCTO (Chief Technology Officer) のコメント記事によると、「HPとの協業により、既存の印刷技

術に効率的に補完する形で、デジタル印刷分野の可能性を広げ、製品開発の機会を生み出していくことが可能になる。」と説明している。また同氏は「まず製品化の第一歩として、MICR分野でのソリューションを具現化する」としています。

中部フォーム印刷工業会主催

■「ビジネスチャンスはどう見つけるか」をテーマにセミナーを開催

中部フォーム印刷工業会(松尾富正会長)では、非常に厳しい経済状況の中、お客さまのニーズを掴み、周辺ビジネスに取り組んで、領域の拡大と深耕を進めることが求められている今、「ビジネスチャンスはどう見つけるか」をテーマにセミナーを開催致します。

ある日、お母さんが、小さな子どもとベビーカーの赤ちゃんを連れて、地下鉄のホームを歩いていました。でも、乗りたいエレベーターはるか遠く、子どもたちはもうぐったり。「……乗るエレベーターの位置がわかっていれば……」という子どもを気づかう母の思いから『のりかえ便利マップ』を生み出された、発明主婦で起業家の福井泰代社長が講演。

講師の福井社長は様々なマスコミにも取り上げられ、私鉄各社が採用している『のりかえ

便利マップ』をはじめとする交通コンテンツや、携帯端末向けマンナビゲーション事業、主婦のネットワークでデータ収集

をしている『毎日特売』など、アイデアを新しいビジネスに育て上げ、幅広い事業を展開中。
日時：平成21年11月19日(木) 午後3時から
講演：「ビジネスチャンスはどう見つけるか」
講師：(株)ナビット 代表取締役 福井 泰代 様
会場：メルパルクNAGOYA 3階「シリウスの間」

問合せ連絡先：中部フォーム印刷工業会
事務局 青山
TEL：052-231-5165



(株)矢野経済研究所

■「コンピュータ・サプライ市場の展望と戦略」(第13回)を発刊

(株)矢野経済研究所では隔年発行しているヤノ・レポート編集部作成による2009年度版を発刊。

同誌の第8章「フォーム印刷市場の展望と戦略」の項目のなかで、フォーム印刷市場規模の推移として、2007年度：4,470億円、2008年度：4,435億円、2009年度：4,320億円の市場規模に縮小するとしている。

さらに フォーム印刷とデータプリントを含む情報処理サービスの需要見通しとして、2009年度：フォーム印刷2,210億円、情報処理

サービス2,110億円と、売上規模は拮抗しているものの、2011年度：フォーム印刷1,970億円、情報処理サービス2,430億円 と従来のフォーム印刷より情報サービスの需要が大きく上回ると予測している。

「2009年度版コンピュータ・サプライ市場の展望と戦略」

<A 4版/本文400ページ/2009年8月30日発行>

(株)矢野経済研究所

ヤノ・レポート編集部作成

販売価格：定価 107,100円

フルカラーデジタル印刷機

Xeikon 8000

スピード

品質

稼働率

品質に厳しい流通業界のDMを6日間で600万ページ印刷するために、「この3つの基準で満足させてくれたのがXeikon8000でした。」

パラジェット社 セールス・マーケティングマネージャー
ペル ラルソン氏談



Parajett AB (パラジェット) 社
<http://www.parajett.se>

1904年スウェーデンに設立した総合印刷会社。オフセット印刷、デジタル印刷を含むIT技術を駆使して、顧客毎に最適なコミュニケーションのためのソリューションを提供。

販売代理店

サカタインクス株式会社 事業開発推進本部

大阪本社 — 550-0002 大阪市西区江戸堀1-23-37
TEL05-6447-5874 FAX06-6447-5839

東京本社 — 112-0004 東京文京区後楽1-4-25(日教館ビル)
TEL03-5689-6674 FAX03-5689-6633

ホームページアドレス <http://www.inx.co.jp>

紙粉による印刷トラブルを解消!!

特許出願中

KBDペーパークリーナー

もう紙粉のトラブルに悩むことはありません!

特長

- 素材に全く傷を付けず、強制的に素材(紙、フィルム)を超微振動させ、紙粉を強制的に遊離させて、効率よく吸引除去させます。
- 特殊ローラーを使用し、素材(紙、フィルム)に対し粘着したり、擦ることがありません。

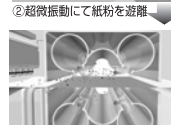
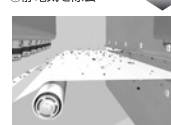
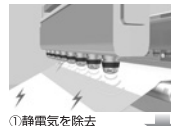
紙粉の除去が多様なメリットをもたらします!

1. 白ヌケが全く無くなった
2. 印刷機を止めることがないので...

- 紙のロスの軽減
- ブランケット洗浄回数が1/3に
- 刷版の洗浄が不要になった

→以上により、印刷機稼働率が大幅にアップ

3. その他
- 紙粉が飛散しないので、工場内の空気がきれいになった
 - メンテナンス不要によりオペレーターの負担が軽減
 - 色合いのチェックや見当ズレ等のみに注意すればよかった
 - 洗浄液使用量が1/3に、またインキに紙粉がまじらないので、インキ廃棄量も削減
- 枯渇資源の削減につながる



印刷機材の総合商社
株式会社

光文堂

<http://www.kobundo.co.jp>

KOBUNDO

インキ練りローラー自動洗浄装置

KBDローラーグリーンシステム

インキ洗浄時間の大幅短縮・安全、
資源の節約を極める

販売実績記録を
更新中!

インキカラーコントロールシステム

KBDマイクロカラーSL

シール・ラベル小型印刷機専用システム

タッチパネル方式で
使いやすくなって、
新機能も追加!

インキカラーコントロールが
グッと身近に。

ニュータイプ登場!!



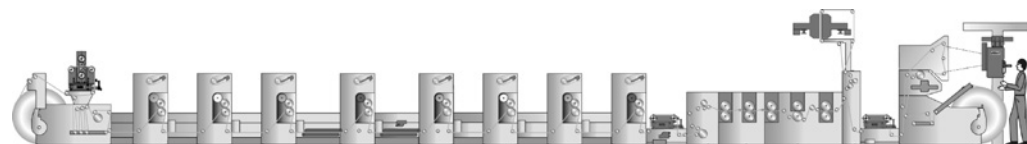
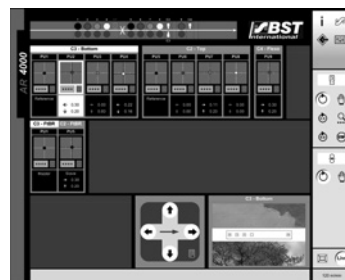
本店/〒460-0022 名古屋市中区金山二丁目15番18号 TEL 052(331)4111(代)
支社/東京 支店/東北・静岡・大阪・北九州・福岡 営業所/北海道・青森・山形
千葉・山梨・沼津・浜松・豊橋・岐阜・福井・金沢・富山・京都・山口・大分・熊本・沖縄

ビジネスフォーム印刷用 BST自動見当装置システム

プロセスカラーの見当合わせ時間の短縮に最適!

■採用のメリット!!

- ・各オーダ及びオーダプロフィールのデータ管理!
- ・ロット量にかかわらず始かり時間の大幅短縮!
- ・オペレータの技量を選ばないシステム!
- ・手動操作に対して大幅な損紙の軽減!
- ・印刷スピードの大幅アップ!
- ・大幅な損紙の軽減



ビーエスティ日本株式会社

東京営業所 〒108-0074 東京都港区高輪3-25-27 アベニュー高輪411号室
本社 〒562-0035 大阪府箕面市船場東1-10-9 箕面フレイバービル3階
大阪工場 〒594-0062 大阪府和泉市寺田町3-1-27

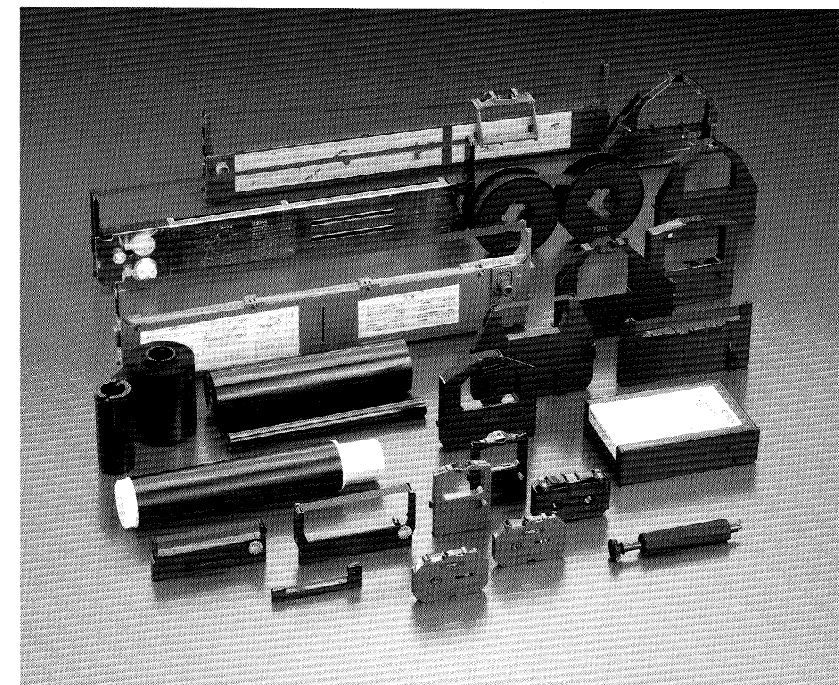
TEL: 03-5798-7805 FAX: 03-5798-7806
TEL: 072-727-4704 FAX: 072-727-4914
TEL: 0725-44-9930 FAX: 0725-44-9931

貴社の利益倍増計画に協力する 弊社の商品群

インキ部門

フォーム印刷部門

コンピューターサプライ部門



ニシカールボインキ株式会社

本社・工場	大阪府高槻市上土室 6-17-1	〒569-1044	電話0726(95)2921(代)
東京支店	東京都千代田区飯田橋 3-11-14	〒102-0072	電話03(3263)2331(代)
福岡営業所	福岡市博多区半道橋 1-5-36	〒812-0897	電話092(472)5731(代)
仙台営業所	仙台市宮城野区高砂 1-24-15	〒983-0014	電話022(254)6021(代)
関東久喜工場	埼玉県久喜市清久町 2-7	〒346-0035	電話0480(23)6363(代)
宇治田原工場	京都府綴喜郡宇治田原町工業団地	〒610-0231	電話07748(8)4711(代)



21世紀の情報記録を
サポートします。

三菱情報記録用紙

三菱 **NCR紙** 三菱 **IJフォーム用紙** 三菱 **DFカラーM・G**
三菱 **ダイヤフォーム** 三菱 **ダイヤメールシリーズ** 三菱 **OCR用紙** 三菱 **感熱紙**

三菱製紙株式会社

洋紙事業部 情報・特殊紙営業部 〒100-0005 東京都千代田区丸の内3丁目4番2号 ☎03(3213)3732
大阪営業所 情報用紙グループ 〒541-0056 大阪市中央区久太郎町1丁目3番9号 ☎06(6271)4455

三菱製紙販売株式会社

本 店 〒104-0031 東京都中央区京橋2-6-4 ☎03(3566)2341
大 阪 支 店 〒541-0056 大阪市中央区久太郎町1-3-9 ☎06(6271)2271
名古屋支店 〒450-0002 名古屋市中村区名駅3-16-22名古屋ダイヤビル ☎052(563)7561
東北支店 〒983-0045 仙台市宮城野一丁目11番1号ダイヤミックビル ☎022(295)7710
九州支店 〒810-0001 福岡市中央区天神1-15-6 綾杉ビル ☎092(771)1531

NPiフォーム **NEXT-IJ**



次世代を担うフルカラーインクジェットフォーム

近年、DPS 事業におけるインクジェット印刷の高速かつフルカラー化は目を見張るものがあります。
当社は高白色、高不透明、高平滑でご好評いただいております「NPiフォーム NEXT」をベースに高性能
インクジェット適性(耐水性、高発色性)を付与し、新たにラインアップいたしました。

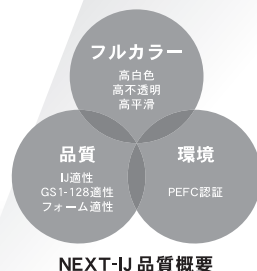
■NPiフォーム NEXT-IJ 規格表

米坪(g/m ²)	64.0	81.4	104.7	127.9	157.0
連量(kg)	55	70	90	110	135

※尚、本製品は受注生産となります。

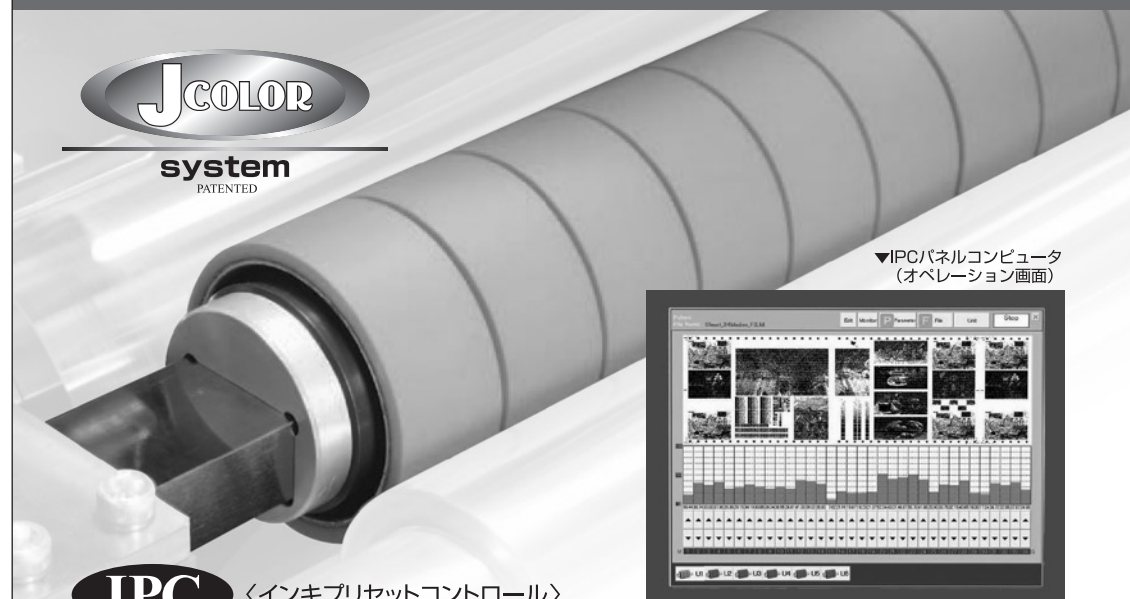
日本製紙株式会社 情報・産業用紙営業本部 情報用紙一部

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-2-2 Tel. (03) 6665-1042



コスト削減・高品質

ビジネスフォーム印刷に最適!! 《環境配慮型システム》



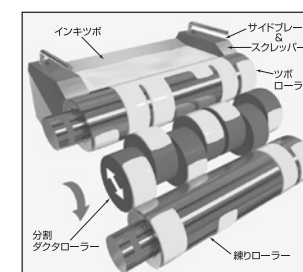
▼IPCパネルコンピュータ
(オペレーション画面)

IPC 〈インキプリセットコントロール〉

※刷版データとインキ量グラフを同時に表示。オペレーター
が操作しやすくなっています。

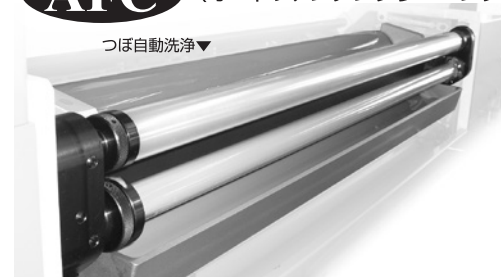
★メリット

- ◎分割ダクタローラーは正確なインキ量供給により、
色調、立ち上がりが向上。
- ◎低速から高速への速度追従機能により、濃度安定・
ヤレ削減を実現。
- ◎極小絵柄でも色品質が安定し、インキ乳化を抑制。
- ◎つぼネジ調整一切不要→時間短縮・生産効率UP。



▲分割ダクタローラー機構
(呼び出しローラー)

AFC 〈オートファンテンクリーニング〉



- インキつぼをカバーフィルムで覆い、自動フィルム巻取機能による
洗浄システム。

★メリット

- ◎12色機の場合、インキつぼ&つぼローラを
同時に洗浄、約3分で洗浄完了。

IPC・AFC 国内外特許取得
※類似品にご注意下さい。

アイマー・プランニング株式会社
〒612-8207 京都市伏見区横大路三栖山城屋敷町108

TEL.075-603-3878 FAX.075-603-3877
URL <http://www.imer.jp> E-mail: sec@imer.jp

